



PATENT
4243-0106P

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: Toshihiko KAKU Conf.:
Appl. No.: 10/731,116 Group:
Filed: December 10, 2003 Examiner:
For: IMAGE CORRECTION APPARATUS AND IMAGE
PICKUP APPARATUS

L E T T E R

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

February 5, 2004

Sir:

Under the provisions of 35 U.S.C. § 119 and 37 C.F.R. § 1.55(a), the applicant(s) hereby claim(s) the right of priority based on the following application(s):

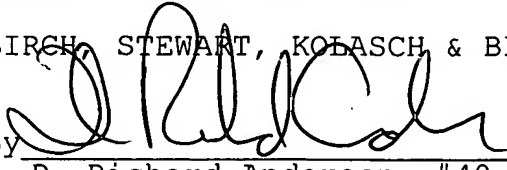
<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	2002-359669	December 11, 2002
JAPAN	2002-359679	December 11, 2002
JAPAN	2003-385084	November 14, 2003
JAPAN	2003-382516	November 12, 2003

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to Deposit Account No. 02-2448 for any additional fee required under 37 C.F.R. §§ 1.16 or 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By 
D. Richard Anderson, #40,439

DRA/lab
4243-0106P

P.O. Box 747
Falls Church, VA 22040-0747
(703) 205-8000

Attachment(s)

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

4243-106P
Toshihiko KAKU
10/731,116
12-10-03
BSKB
(703) 205-8000

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2002年12月11日

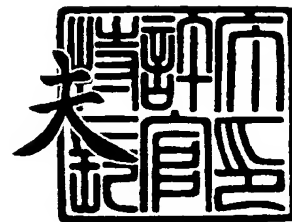
出願番号
Application Number: 特願2002-359669
[ST. 10/C]: [JP2002-359669]

出願人
Applicant(s): 富士写真フイルム株式会社

2003年 8月29日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井 康



出証番号 出証特2003-3070764

【書類名】 特許願

【整理番号】 501541

【提出日】 平成14年12月11日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06T 5/00
H04N 1/56

【発明の名称】 画像修正装置および電子カメラ

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 加來 俊彦

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100094330

【弁理士】

【氏名又は名称】 山田 正紀

【選任した代理人】

【識別番号】 100079175

【弁理士】

【氏名又は名称】 小杉 佳男

【選任した代理人】

【識別番号】 100109689

【弁理士】

【氏名又は名称】 三上 結

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 017961

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9800583

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像修正装置および電子カメラ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像を表す画像データを取得する画像取得部と、
前記画像取得部により取得された画像データにより表わされる画像中の目の不具合を検出し、検出された不具合を修正する修正部と、
画像データに基づく画像を表示する画像表示部とを備え、
前記画像表示部は、前記画像取得部によって画像データが取得されたときに、前記修正部により不具合が修正された後の修正後画像を表示するものであることを特徴とする画像修正装置。

【請求項 2】 前記画像表示部に表示された修正後画像中の、前記修正部により修正された不具合を、操作に応じて、該修正部による修正の前の状態に戻す修正取消部を備えたことを特徴とする請求項 1 記載の画像修正装置。

【請求項 3】 前記画像表示部は、前記修正後画像を表示するにあたって、前記修正部により修正された不具合を強調して表示するものであることを特徴とする請求項 1 記載の画像修正装置。

【請求項 4】 前記修正部は、前記画像中の赤目部分を検出し、検出された赤目部分を修正するものであって、

前記画像表示部は、前記画像取得部によって画像データが取得されたときに、前記修正部により赤目部分が修正された後の修正後画像を表示するものであることを特徴とする請求項 1 記載の画像修正装置。

【請求項 5】 撮影光学系を経由してきた被写体光による被写体像を固体撮像素子上に結像させて該被写体像を表す画像データを取得する電子カメラにおいて、

画像データに基づく画像を表示する画像表示部と、
前記被写体像中の目の不具合を検出し、検出された不具合を修正する修正部とを備え、

前記画像表示部は、前記被写体像を表す画像データが得られたときに、前記修正部により不具合が修正された後の修正後画像を表示するものであることを特徴とする電子カメラ。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、画像中の赤目部分や金目部分などといった目の不具合を検出し、検出された不具合を修正する画像修正装置および電子カメラに関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来より、閃光を発する発光部を有する閃光装置を備えたカメラが知られている。ここで、人物や動物の目は、暗所においては瞳孔が大きく開かれることによってより多くの光が取り入れられるような構造となっている。従って、暗所において瞳孔が大きく開かれた状態の人物や動物を、カメラに備えられた閃光装置を用いて写真撮影すると、大きく開かれた瞳孔を通して閃光装置の発光部で発せられた閃光が眼球内に入射し、その閃光が眼球の内面を覆う網膜の毛細血管によって反射されることによって、人物や動物の瞳孔部分が赤く再現される、いわゆる赤目現象が起きる場合がある。また、カメラに備えられた閃光装置を用いて写真撮影すると、閃光装置で発せられた閃光が眼球に対して入射する入射角によっては、眼球の最外層をとりまく強膜や角膜でその閃光が反射することによって、人物や動物の瞳孔部分が白みを帯びたように再現される、いわゆる金目現象が起きる場合もある。

【0003】

近年のデジタル処理技術の発達に伴い、上述したような、人物や動物の瞳孔部分が赤く再現されたり白みを帯びたように再現される写真を表す画像データを取得し、取得された画像データにより表わされる画像中の赤目部分や金目部分を検出し、検出された赤目部分や金目部分を修正する画像処理装置や電子カメラが提案されている（例えば、特許文献1参照）。

【0004】**【特許文献1】**

特開2000-305141号公報

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

上述した特許文献1に提案された、Charge Coupled Device (CCD) 固体撮像素子上に被写体の像を結像させて、その被写体を表す画像データを信号として取り込む電子カメラは、上述したような、写真撮影された人物や動物の画像中の赤目部分を検出し、検出された赤目部分を修正する画像処理装置の機能が搭載されたものである。また、この特許文献1に提案された電子カメラには、画像を表示する画像表示装置が備えられており、赤目部分が検出されることによって画像表示装置に人物や動物の目が赤目に再現された画像が表示され、表示に基づいて撮影者等のユーザは写真撮影で得られた画像中の赤目部分を確認し、赤目部分の修正を行うか否かを判断する。判断の結果、赤目部分の修正を指示した場合には、赤目部分が修正された後の画像が画像表示装置に表示されることによって、正確に修正されたか否かを確認する。従って、この特許文献1に提案された電子カメラでのユーザによる確認作業は、赤目部分が検出された場合、および赤目部分が検出され修正された場合の2回必要であるため、ユーザにとって煩わしく手間のかかるものである。

【0006】

また、電子カメラに備えられる画像表示装置は、一般に画面の小さなものであるため、このような画面の小さな画像表示装置で赤目部分を目視で確認することは困難である。

【0007】

このような問題点を解消する手段として、画像表示装置に表示された画像中の赤目部分を拡大表示することによって目視による赤目部分の確認を容易にする手段が知られているが、複数の目が赤目に再現された画像では、確認作業が煩雑となる。

【0008】

上記の問題は、カメラや写真の分野に限らず、例えばWEB上から取り込んだ画像などといった任意の画像に対して画像処理を施す場合など、画像処理分野で一般的に生じる。

【0009】

本発明は、上記事情に鑑み、画像中の赤目部分や金目部分などといった目の不具合の確認が、容易な操作で実現される画像修正装置および電子カメラを提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成する本発明の画像修正装置は、
画像を表す画像データを取得する画像取得部と、
上記画像取得部により取得された画像データにより表わされる画像中の目の不具合を検出し、検出された不具合を修正する修正部と、
画像データに基づく画像を表示する画像表示部とを備え、
上記画像表示部は、上記画像取得部によって画像データが取得されたときに、上記修正部により不具合が修正された後の修正後画像を表示するものであることを特徴とする。

【0011】

本発明の画像修正装置は、画像中の目の不具合を検出して検出された不具合を修正し、不具合が修正された後の修正後画像を表示するものであるため、検出された不具合と修正された不具合とをその修正後画像によって同時に1回で確認することができ、画像中の目の不具合の確認が、容易な操作で実現される。

【0012】

ここで、上記本発明の画像修正装置は、上記画像表示部に表示された修正後画像中の、上記修正部により修正された不具合を、操作に応じて、その修正部による修正の前の状態に戻す修正取消部を備えたものであることが好ましい。

【0013】

このような修正取消部を備えた画像修正装置は、修正部による不具合の検出あるいは修正が不適切なものであった場合に、不具合が修正される前の状態に戻すことができる。

【0014】

また、上記本発明の画像修正装置において、上記画像表示部は、上記修正後画像を表示するにあたって、上記修正部により修正された不具合を強調して表示す

るものであることも好ましい形態である。

【0015】

このように、修正後画像中の目の不具合が強調して表示されれば、画像中の目の不具合の確認が、より一層容易である。

【0016】

さらに、上記本発明の画像修正装置において、上記修正部は、上記画像中の赤目部分を検出し、検出された赤目部分を修正するものであって、

上記画像表示部は、上記画像取得部によって画像データが取得されたときに、上記修正部により赤目部分が修正された後の修正後画像を表示するものであることがさらに好ましい。

【0017】

目の不具合のうち特に赤目は、心理的な違和感が強いのに対し、視覚的には確認が困難であるため、このような、画像中の赤目部分に対する修正確認が容易な画像修正装置は特に有用である。

【0018】

また、上記目的を達成する本発明の電子カメラは、

撮影光学系を経由してきた被写体光による被写体像を固体撮像素子上に結像させてその被写体像を表す画像データを得る電子カメラにおいて、

画像データに基づく画像を表示する画像表示部と、

上記被写体像中の目の不具合を検出し、検出された不具合を修正する修正部とを備え、

上記画像表示部は、上記被写体像を表す画像データが得られたときに、上記修正部により不具合が修正された後の修正後画像を表示するものであることを特徴とする。

【0019】

“発明が解決しようとする課題”で説明したように、電子カメラに備えられる画像表示装置は、一般に画面の小さなものであるが、本発明の電子カメラのように、被写体像中の目の不具合を検出して検出された不具合を修正し、不具合が修正された後の修正後画像を表示するものであれば、検出された不具合と修正され

た不具合とをその修正後画像によって同時に 1 回で確認することができる。また、一般的に電子カメラに備えられるスイッチ類の操作性は決し良くないが、本発明の電子カメラは、不具合が修正された後の修正後画像によって赤目部分を確認するものであるため確認の操作数が少なく、操作性の悪いスイッチ類であっても、画像中の目の不具合を容易に確認することができる。

【 0 0 2 0 】

ここで、上記本発明の電子カメラは、上記画像表示部に表示された修正後画像中の、上記修正部により修正された不具合を、操作に応じて、その修正部による修正の前の状態に戻す修正取消部を備えたものであることが好ましい。

【 0 0 2 1 】

このような修正取消部を備えた電子カメラは、修正部による不具合の検出あるいは修正が不適切なものであった場合に、不具合が修正される前の状態に戻すことができる。

【 0 0 2 2 】

さらに、上記本発明の電子カメラにおいて、上記画像表示部は、上記修正後画像を表示するにあたって、上記修正部により修正された不具合を強調して表示するものであることも好ましい形態である。

【 0 0 2 3 】

このように、修正後画像中の目の不具合が強調して表示されれば、画像中の目の不具合の確認が、より一層容易である。

【 0 0 2 4 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態について説明する。

【 0 0 2 5 】

ここでは、本発明を、Charge Coupled Device (CCD) 固体撮像素子上に被写体の像を結像させて、その被写体を表す画像データを信号として取り込む電子カメラに適用した実施形態について説明する。

【 0 0 2 6 】

図 1 は、本発明の一実施形態の電子カメラを前面斜め上から見た外観斜視図で

ある。ここでは、先ず図1～図3を参照して、電子カメラの一般的な構成について説明する。尚、本実施形態の電子カメラにおける本発明としての特徴は、後述する“自動赤目補正処理”モードの処理動作にあるが、このモードの動作説明については後で詳細に行う。

【0027】

図1に示すカメラ100は、図示しない写真フィルム上に写真撮影を行うカメラである。

【0028】

このカメラ100の前面には、撮影レンズ101aを内部に備えたレンズ鏡胴101が備えられている。この撮影レンズ101aは、入射した被写体光を、内部に配置されたCCD固体撮像素子（ここでは図示せず）の撮影面上に結像させ、そのCCD固体撮像素子で被写体を表す画像データが生成される。

【0029】

また、このカメラ100の前面には、レンズ鏡胴101の左斜め上にフラッシュ調光窓102、フラッシュ調光窓102の左隣にフラッシュ発光窓103、フラッシュ発光窓103の下にセルフタイマLED115、およびレンズ鏡胴101の右斜め上に光学式ファインダ対物窓104aが備えられている。

【0030】

また、このカメラ100の上面の右端には、シャッターリリースボタン105が備えられている。尚、背面上部に備えられ、上面に一部が突出して配置された撮影モードダイヤル112については、図2を参照して説明する。

【0031】

さらに、このカメラ100の左側面の下方には、上から順に、写真撮影によって得られた画像データをパーソナルコンピュータなどに送信する際に使用されるUniversal Serial Bus（USB）ケーブルが接続されるUSB端子106、およびカメラ100に外部電源を供給する際に使用される電源ケーブルが接続される電源入力端子107が備えられている。

【0032】

図2は、図1に示すカメラを背面斜め上から見た外観斜視図である。

【0033】

このカメラ100の背面には、光学式ファインダ接眼窓104b、画像や日時を表示する液晶ディスプレイ（Liquid Crystal Display：LCD）パネル108、LCDパネル108による画像表示をオン／オフするためのLCDパネル起動ボタン109、バリエーションの選択およびズームを行なう際に操作される十字キー110、例えば日付や日時の設定などといったメニューをLCDパネル108上に表示させたり、そのメニューを確定する際に使用されるメニュー／OKスイッチ111、各種操作によって変更された設定を無効にする際に使用されるキャンセルスイッチ116、後述する各種モードを選択する際に使用される撮影モードダイヤル112、写真撮影を行う“撮影記録”機能と、写真撮影されて記録された画像データを再生する“画像データ再生”機能とのうちのいずれかの機能を選択する際に使用される機能選択レバー113、および、機能選択レバー113の軸上に設けられたメインスイッチ114が備えられている。また、このカメラ100では、十字キー110による操作に応じて、被写体像中の赤目部分を検出して検出された赤目部分を修正する“自動赤目補正処理”モードを選択することができる。尚、この自動赤目補正処理モードの詳細な説明は後述する。ここで、LCDパネル108は、本発明にいう画像表示部の一例に相当するものである。

【0034】

このカメラ100では、機能選択レバー113を“撮影記録”側113aにもっていくことによって“撮影記録”機能が選択され、機能選択レバー113を“画像データ再生”側113bにもっていくことによって“画像データ再生”機能が選択される。また、この機能選択レバー113によって“撮影記録”機能が選択されている場合には、撮影モードダイヤル112を回転させることによって、人物を撮影するのに適した“人物撮影”モード、風景を撮影するのに適した“風景撮影”モード、動きの速い被写体を撮影するのに適した“スポーツ”モード、シャッターリリースボタン105が押下されてから実際に撮影されるまでに時差を与える“セルフタイマ”モード、および撮影者自身を撮影するのに適した“自己撮影”モードのうちのいずれかのモードを選択することができる。

【 0 0 3 5 】

図 3 は、図 1，図 2 に示すカメラの内部に配備された信号処理部の構成ブロック図である。

【 0 0 3 6 】

この図 3 に示す構成ブロック図を参照してカメラ 1 0 0 内に配備された信号処理部の構成を説明する。

【 0 0 3 7 】

図 1，図 2 に示すカメラ 1 0 0 では、すべての処理が C P U 2 1 1 によって制御されていて、この C P U 2 1 1 の入力部には、図 3 に示す各種スイッチが接続されている。

【 0 0 3 8 】

これら各種スイッチのそれぞれの接続状況をまず説明する。

【 0 0 3 9 】

撮影の開始撮影の開始指示を行うシャッターリリースボタン 1 0 5（図 1，図 2 参照）には、このシャッターリリースボタン 1 0 5 の押下に同期して作動するシャッタスイッチ 1 0 5 a が設けられている。このシャッタスイッチ 1 0 5 a のオンオフ信号が C P U 2 1 1 へ入力される。C P U 2 1 1 ではシャッタスイッチ 1 0 5 a のオン信号を撮影開始の合図として受け取る。このときには、機能選択レバー 1 1 3 が” 画像記録” 側 1 1 3 a に切り替えられており、撮影を行うことが C P U 2 1 1 で検知されている。

【 0 0 4 0 】

十字キー 1 1 0 では L C D パネル 1 0 8 に表示される選択メニューの、複数の項目の中のいずれかが選択できるようになっている。図 3 には十字キー 1 1 0 の接点 1 1 0 1 ～ 1 1 0 4 が示されている。たとえば接点 1 1 0 1 が押下されたら上方向へカーソルが移動する。また 1 1 0 2 が押下されたら右方向へ移動するようになっている。そして、いずれかの接点 1 1 0 1 ～ 1 1 0 4 が接続されてオンオフ信号が C P U 2 1 1 に入力されると C P U 2 1 1 ではその移動指示に基づいてバス 2 2 0 を介して L C D パネル 1 0 8 へカーソルの移動指示を転送する。そうすると複数表示されている項目の中のいずれかにカーソルが移動する。従って

、LCDパネル108に表示されるカーソルに基づいて、ユーザは選択メニューの中の複数の項目のいずれかを、十字キー110によって選択することができる。ここで電子ズームが選択されると被写体の中央を中心として撮影画角内の一部領域が切り出され、電子ズームが行われる。このときには切り出しを行う領域のサイズの指定も行えるような構成になっている。

【0041】

また、機能選択レバー113が”画像データ再生”側113bに切り替えられると記録メディア240からの再生が行われる。このときには撮影を行うための指示を行うシャッタスイッチ105aなどからの信号が入力されても処理は行われない。

【0042】

以上が、図3に示されているCPU211の入力部の説明である。

【0043】

次にCPU211の出力部を説明する。

【0044】

この出力部には、タイミングジェネレータ212、フォーカスレンズ216を駆動するためのモータドライバ217、光量調整装置300に備えられたモータを駆動するためのモータドライバ214、およびCDSAMP213が接続されている。

【0045】

まずユーザが撮影を行うときにCPU211の出力部からどのような信号が出力されるかを説明する。撮影を行うときにはLCDパネル108上に被写体像が被写体の動きにあわせて表示されている。この表示されている被写体の像を見ながら、ユーザはフレーミングを行い、シャッタリリースボタン105を押下して撮影を行う。このときにシャッタリリースボタン105に同期して作動するシャッタスイッチ105aがオンされることによってCPU211では撮影開始の指示がユーザから送られたことを知る。そこでCPU211では撮影開始を指示する信号をタイミングジェネレータ212へ出力する。タイミングジェネレータ212ではこの指示を受けてCCD固体撮像素子210へシャッタリリースボタン

105が押下されたことを知らせる信号を供給する。この信号を受けてCCD固体撮像素子210ではシャッターリリースボタン105が押されたときにCCD固体撮像素子210によって撮像されていた画像データをRGB信号として出力する。このときCCD固体撮像素子210から読み出されたRGB信号は雑音が多いので、CPU211ではこの雑音を低減するためCDSAMP213へも雑音低減処理を行うタイミング信号を出力する。

【0046】

図1、図2に示す各種スイッチからの入力信号に応じてCPU211から出力される信号は以上のとおりである。

【0047】

ここからはCCD固体撮像素子210で撮像された撮像信号がどのように処理されるかを順を追って説明する。

【0048】

図2に示す機能選択レバー113が”画像記録”側113aになっているときにシャッターリリースボタン105が押下された場合を説明する。

【0049】

CPU211の入力部に接続されている機能選択レバー113が”画像記録”側113aになっていてシャッターリリースボタン105が押下されるとシャッタースイッチ105aが接続されて、CPU211ではシャッターリリースボタン105の押下が検知される。このようにユーザによってシャッターリリースボタン105が押下されるとCPU211からタイミングジェネレータ212に対して撮影の開始指示が行われる。この開始指示を受けてCCD固体撮像撮像素子210はRGB信号を出力する。

【0050】

シャッターリリースボタンが押されていないなくても、画像表示装置227のLCDパネル108には撮影レンズが向けられた方向の被写体像が常に表示されている。この表示されている被写体像は、CCD固体撮像素子210から所定の時間間隔ごとに読み出されるRGB信号から成る画像データを画像信号処理回路222でYC信号に変換し、そのYC信号をVideo Encoder 226を経由

させて画像表示装置 227 に供給して得られるものである。このような被写体像の表示が行われているときに AE & AWB 検出回路 231 では露出調節が、AF 検出回路 230 ではコントラストの検出が絶えず行われている。ここで、画像信号処理回路 222 は、本発明にいう修正部や修正取消部の機能の一例を担うものであり、後述するように、撮影時には撮影画像中の赤目部分の検出と修正を行う。

【0051】

露出調節にあつては CCD 固体撮像素子 210 から所定の時間間隔ごとに読み出される RGB 信号の輝度情報に基づいて AE & AWB 検出回路 231 で露出調整が行われる。AE & AWB 検出回路 231 で露出調整が行われると CPU 211 にその結果が伝えられ、CPU 211 ではその結果に基づいてモータドライバ 214 に指示を出し、適正な露出となるような光量が得られるように、光量調整装置 300 に備えられたモータが駆動される。また焦点調節にあつては AF 検出回路 230 でフォーカスレンズ 216 を移動させ、所定の時間間隔ごとに AF 検出回路 230 で RGB 信号のコントラストの検出を行って焦点調節が行われる。AF 検出回路 230 でコントラストの検出が行われると CPU 211 にその結果が伝えられ、CPU 211 ではその結果に基づいてモータドライバ 217 にフォーカスレンズ 216 の駆動指示を出し、検出されたコントラストが最大となる合焦点位置にフォーカスレンズ 216 が駆動される。そしてフォーカスレンズ 216 が合焦点位置に配置されたら、CPU 211 から画像取り込みの信号がタイミングジェネレータ 212 へ供給され、タイミングジェネレータ 212 から撮影開始信号が CCD 固体撮像素子 210 に供給され、CCD 固体撮像素子 210 に蓄積された電荷がタイミングジェネレータ 212 の読み出し信号によって RGB 信号として CDS AMP 213 側へ読み出される。

【0052】

この読み出された RGB 信号が供給された CDS AMP 213 では、雑音低減の処理が行われて、雑音が除去された RGB 信号が A/D 変換回路 218 へと供給される。A/D 変換回路 218 ではアナログの RGB 信号が A/D 変換されてデジタル信号の RGB 信号に変換される。

【0053】

なおCPU211と画像入力コントローラ219、メモリ（SDRAM）221、画像信号処理回路222、圧縮処理回路223、メディアコントローラ224、USB controller 225、Video Encoder 226、AF検出回路230、AE&AWB検出回路231とはバス220によって接続されており、このバス220を介してアドレス、データなどの授受が行われる。そのバス220を介してデータの授受を行うためのレジスタがCPU211内には各種用意されていてこれらのレジスタの内容が各処理部の処理の進行状況に応じて書き換えられる。CPU211内ではこのレジスタの内容を判読して処理が行われる。

【0054】

デジタル信号に変換されたRGB信号は画像入力コントローラ219によってバス220側へ導かれてCPU211によって制御され、メモリ（SDRAM）221に書き込まれる。ここで、画像入力コントローラ219は、本発明にいう画像取得部の一例に相当するものである。そしてRGB信号の取り込みが完了したら、今度はメモリ（SDRAM）221からRGB信号が読み出されてバス220を経て画像信号処理回路222に供給される。画像信号処理回路222ではRGB信号からYC信号への変換が行われ、さらに圧縮処理回路223で圧縮された画像データがメディアコントローラ224を介して記録メディア240にJPEGファイルとして記録される。

【0055】

なお、USB controller 225も図1、図2に示すカメラには備えられており、USB規格準拠の外部機器との接続も可能な構成になっている。

【0056】

以上が図1、図2に示すカメラ100で撮影が行われるときに記録メディア240に記録されるまでの画像データの流れである。

【0057】

図4は、“自動赤目補正処理”モードが選択される場合における操作の流れを説明するフローチャートである。

【 0 0 5 8 】

まず、図 2 に示す機能選択レバー 1 1 3 を“撮影記録”側 1 1 3 a にもっていくことによって“撮影記録”機能を選択し、撮影モードダイヤル 1 1 2 を回転させることによって所望の撮影モードを選択し、更に十字キー 1 1 0 による操作に応じて“自動赤目補正処理”モードを選択した後にシャッターリリースボタン 1 0 5 を押下することによって撮影が行われる（ステップ S 1）。

【 0 0 5 9 】

ここで、図 5 は、ステップ S 1 によって撮影された撮影画像の一例を示す図である。

【 0 0 6 0 】

ここでは、図 2 に示す撮影モードダイヤル 1 1 2 によって“人物撮影”モードが選択され、更に十字キー 1 1 0 による操作に応じて“自動赤目補正処理”モードが選択された後にシャッターリリースボタン 1 0 5 が押下され、3 人の人物 4 1 0、4 2 0、4 3 0 が撮影された撮影画像の例が示されている。

【 0 0 6 1 】

次に、図 2 に示す十字キー 1 1 0 による操作に応じて“自動赤目補正処理”モードを選択されていることを受けて、ステップ S 1 によって撮影されて得られた撮影画像中の赤目部分を検出して検出された赤目部分を修正する自動赤目補正処理が開始される（ステップ S 2）。

【 0 0 6 2 】

次に、ステップ S 2 による撮影画像中の赤目部分の検出で、赤目部分が検出されていた場合には（ステップ S 3：YES）、自動赤目補正処理が施された後の赤目補正結果画像が、図 2 に示す LCD パネル 1 0 8 に表示される（ステップ S 4）。また、ステップ S 2 による撮影画像中の赤目部分の検出で、赤目部分が検出されなかった場合には（ステップ S 3：NO）、撮影画像を表す画像データが、図 3 に示すメディアコントローラ 2 2 4 を介して記録メディア 2 4 0 に JPEG ファイルとして記録される（ステップ S 12）。

【 0 0 6 3 】

ここで、図 6 は、ステップ S 4 によって自動赤目補正処理が施された後の赤目

補正結果画像がLCDパネルに表示された表示例を示す図である。

【0064】

ここでは、図5に示す撮影画像に対して自動赤目補正処理が施された後の赤目補正結果画像が、自動赤目補正処理によって修正された人物411、421、431の顔411a、421a、431aが実線の丸510、520、530で囲われるように強調されて、図2に示すLCDパネル108に表示された例が示されている。この図6に示す例では、3人の人物411、421、431すべてに対し赤目が検出され修正されたことが示されている。

【0065】

このように、赤目補正結果画像中の赤目部分を有する顔が強調されて表示されると、赤目補正結果画像中の赤目部分の確認が、より一層容易である。

【0066】

次に、ステップS4によって自動赤目補正処理が施された後の赤目補正結果画像による赤目部分の確認の結果、赤目部分が適切に検出され適切に修正されたものであるとユーザが判断した場合には、図2に示すメニュー／OKスイッチ111を押下することによって（ステップS5：YES）、その赤目補正結果画像を表す画像データが、図3に示すメディアコントローラ224を介して記録メディア240にJPEGファイルとして記録される（ステップS12）。

【0067】

このように、本実施形態のカメラ100は、シャッターリリースボタン105を押下して撮影が行われた後、ステップS5でメニュー／OKスイッチ111を押下する1操作のみで確認操作が終了するため、赤目部分の確認操作が極めて簡単である。

【0068】

また、ステップS4によって自動赤目補正処理が施された後の赤目補正結果画像による赤目部分の確認の結果、自動赤目補正処理によって修正された人物の顔を拡大して赤目部分を確認したい場合には、図2に示すキャンセルスイッチ116を押下することによって（ステップS5：NO）、図2に示す十字キー110による顔の選択が可能となる（ステップS6）。

【 0 0 6 9 】

ここで、図 7 は、ステップ S 6 によって十字キーによる顔の選択が可能な赤目補正結果画像が L C D パネルに表示された表示例を示す図である。

【 0 0 7 0 】

ここでは、図 2 に示す十字キー 1 1 0 によって顔が選択された人物 4 1 1 の顔 4 1 1 a が実線の丸 5 1 1 で囲われ、十字キー 1 1 0 による顔の選択が可能な他の人物 4 2 1、4 3 1 の顔 4 2 1 a、4 3 1 a が破線の丸 5 2 1、5 3 1 で囲われた赤目補正結果画像が、図 2 に示す L C D パネル 1 0 8 に表示された例が示されている。十字キー 1 1 0 による操作に応じて実線の丸 5 1 0 が別の人物の顔に移動して、所望の人物 4 1 1、4 2 1、4 3 1 の顔 4 1 1 a、4 2 1 a、4 3 1 a を選択することができる。

【 0 0 7 1 】

次に、図 2 に示す十字キー 1 1 0 による操作に応じて所望の人物の顔を選択した後に、メニュー／OK スイッチ 1 1 1 を押下することによって、選択された人物の顔が拡大されて、図 2 に示す L C D パネル 1 0 8 に表示される（ステップ S 7）。

【 0 0 7 2 】

ここで、図 8 は、ステップ S 7 によって拡大された顔が L C D パネルに表示された表示例を示す図である。

【 0 0 7 3 】

ここでは、図 7 に示す赤目補正結果画像の中の、顔が実線の丸 5 1 0 で囲われた人物 4 1 1 の顔 4 1 1 a を選択した後に、メニュー／OK スイッチ 1 1 1 を押下することによって、その顔 4 1 1 a が拡大されて、図 2 に示す L C D パネル 1 0 8 に表示された例が示されている。

【 0 0 7 4 】

次に、ステップ S 7 によって拡大された顔による、自動赤目補正処理が施された後の赤目部分の確認の結果、赤目部分が適切に検出され適切に修正されたものであるとユーザが判断した場合には、図 2 に示すメニュー／OK スイッチ 1 1 1 を押下することによって（ステップ S 8：Y E S）、その拡大された顔の赤目部

分に対する自動赤目補正処理が確定され、ステップ S 4 に戻って画像の全体が、図 2 に示す L C D パネル 1 0 8 に表示される。その後は、自動赤目補正処理が確定された人物以外の人物の選択が、上記と同様の手順で可能となる。

【 0 0 7 5 】

また、ステップ S 7 によって拡大された顔による、自動赤目補正処理が施された後の赤目部分の確認の結果、拡大された顔の目部分を更に拡大して赤目部分を確認したい場合には、図 2 に示すキャンセルスイッチ 1 1 6 を押下することによって（ステップ S 8：N O）、拡大された目部分が、図 2 に示す L C D パネル 1 0 8 に表示される（ステップ S 9）。

【 0 0 7 6 】

ここで、図 9 は、ステップ S 9 によって拡大された目部分が L C D パネルに表示された表示例を示す図である。

【 0 0 7 7 】

ここでは、図 8 に示す拡大された顔 4 1 1 a の目部分 4 1 1 b が拡大されて、図 2 に示す L C D パネル 1 0 8 に表示された例が示されている。

【 0 0 7 8 】

尚、本実施形態の説明では、目部分が拡大表示される例として両目が拡大表示される例を示したが、片目ずつ拡大表示するものであってもよい。

【 0 0 7 9 】

次に、ステップ S 9 によって拡大された目部分による、自動赤目補正処理が施された後の赤目部分の確認の結果、赤目部分が適切に検出され適切に修正されたものであるとユーザが判断した場合には、図 2 に示すメニュー／O K スイッチ 1 1 1 を押下することによって（ステップ S 1 0：Y E S）、その拡大された顔の赤目部分に対する自動赤目補正処理が確定され、ステップ S 4 に戻って画像の全体が、図 2 に示す L C D パネル 1 0 8 に表示される。その後は、自動赤目補正処理が確定された人物以外の人物の選択が、上記と同様の手順で可能となる。

【 0 0 8 0 】

また、ステップ S 9 によって拡大された目部分による、自動赤目補正処理が施された後の赤目部分の確認の結果、赤目部分の検出や修正において誤った検出や

不適切な修正が施されたものであるとユーザが判断した場合には、図 2 に示すキャンセルスイッチ 1 1 6 を押下することによって（ステップ S 1 0：NO）、その拡大された目に対する赤目部分の検出や修正が取り消され（ステップ S 1 1）、ステップ S 4 に戻って画像の全体が、図 2 に示す LCD パネル 1 0 8 に表示される。その後は、自動赤目補正処理が確定され、あるいは取り消された人物以外の人物の選択が、上記と同様の手順で可能となる。

【 0 0 8 1 】

尚、ここでは、赤目部分の検出や修正において誤った検出や不適切な修正が施されたものであるとユーザが判断した場合には、その検出や修正が取り消される例を示したが、本発明は、これに限られるものではなく、修正された赤目部分を手動で再修正するものであってもよい。

【 0 0 8 2 】

上述した実施形態によれば、撮影画像中の赤目部分を検出して検出された赤目部分を修正し、赤目部分が修正された後の赤目補正結果画像を表示するものであるため、検出された赤目部分と修正された赤目部分とをその赤目補正結果画像によって同時に 1 回で確認することができる。また、一般的に電子カメラに備えられるスイッチ類の操作性は決して良くないが、本実施形態の電子カメラは、赤目部分が修正された後の赤目補正結果画像によって赤目部分を確認するものであるため確認の操作数が少なく、操作性の悪いスイッチ類であっても、画像中の赤目部分を容易に確認することができる。

【 0 0 8 3 】

尚、本実施形態では、CCD 固体撮像素子上に被写体の像を結像させて、その被写体を表す画像データを信号として取り込む電子カメラに本発明を適用した例で説明したが、本発明は、これに限られるものではなく、取得された画像データにより表わされる画像中の赤目部分を検出し、検出された赤目部分を修正し、赤目部分が修正された後の修正後画像を表示する、例えばパーソナルコンピュータなどで実現される画像修正装置にも適用することができる。

【 0 0 8 4 】

また、本実施形態の説明では、“自動赤目補正処理”モードを選択されている

ことを受けて自動赤目補正処理が施される例を示したが、撮影後に必ず自動赤目補正処理が施されるものや、フラッシュを用いた撮影後に必ず自動赤目補正処理が施されるものであってもよい。

【0085】

また、本実施形態の説明では、撮影画像中の赤目部分を検出し、検出された赤目部分を修正する機能と、修正された赤目部分が拡大されることによって強調される機能と、修正された赤目部分を修正の前の状態に戻す機能とが組み込まれた電子カメラの例を示したが、本発明は、これに限られるものではなく、これら3つの機能のうちの任意の機能の組み合わせが組み込まれたものや、これら3つの機能のうちの1つの機能が組み込まれたものであってもよい。

【0086】

さらに、本実施形態の説明では、撮影画像中の赤目部分を検出し、検出された赤目部分を修正する例を示したが、本発明は、これに限られるものではなく、例えば金目部分などといった目に関する所定の不具合を検出し、検出された不具合を修正するものであってもよい。

【0087】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、画像中の赤目部分や金目部分などといった目の不具合の確認が、検出された不具合と修正された不具合とを修正後画像によって同時に1回で行えるため、容易な操作で不具合の確認作業が実現される画像修正装置および電子カメラが提供される。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の第1実施形態のカメラを前面斜め上から見た外観斜視図である。

【図2】

図1に示すカメラを背面斜め上から見た外観斜視図である。

【図3】

図1、図2に示すカメラの内部に配備された信号処理部の構成ブロック図である。

【図 4】

“自動赤目補正処理”モードが選択される場合における操作の流れを説明するフローチャートである。

【図 5】

ステップ S 1 によって撮影された撮影画像の一例を示す図である。

【図 6】

ステップ S 4 によって自動赤目補正処理が施された後の赤目補正結果画像が L C D パネルに表示された表示例を示す図である。

【図 7】

ステップ S 6 によって十字キーによる顔の選択が可能な赤目補正結果画像が L C D パネルに表示された表示例を示す図である。

【図 8】

ステップ S 7 によって拡大された顔が L C D パネルに表示された表示例を示す図である。

【図 9】

ステップ S 9 によって拡大された目部分が L C D パネルに表示された表示例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 0 0 カメラ
- 1 0 1 レンズ鏡胴
- 1 0 1 a 撮影レンズ
- 1 0 2 フラッシュ調光窓
- 1 0 3 フラッシュ発光窓
- 1 0 4 a 光学式ファインダ対物窓
- 1 0 4 b 光学式ファインダ接眼窓
- 1 0 5 シャッタリリースボタン
- 1 0 5 a シャッタスイッチ
- 1 0 6 U S B 端子
- 1 0 7 電源入力端子

- 1 0 8 L C D パネル
- 1 0 9 L C D パネル起動ボタン
- 1 1 0 十字キー
- 1 1 1 メニュー／OK スイッチ
- 1 1 2 撮影モードダイヤル
- 1 1 3 機能選択レバー
- 1 1 3 a “撮影記録” 側
- 1 1 3 b “画像データ再生” 側
- 1 1 4 メインスイッチ
- 1 1 5 セルフタイマ L E D
- 1 1 6 キャンセルスイッチ
- 2 1 0 C C D 固体撮像素子
- 2 1 1 C P U
- 2 1 2 タイミングジェネレータ
- 2 1 3 C D S A M P
- 2 1 4, 2 1 7 モータドライバ
- 2 1 6 フォーカスレンズ
- 2 1 8 A / D 変換回路
- 2 1 9 画像コントローラ
- 2 2 0 バス
- 2 2 1 メモリ (S D R A M)
- 2 2 2 画像信号処理回路
- 2 2 3 圧縮処理回路
- 2 2 4 メディアコントローラ
- 2 2 5 U S B c o n t r o l l e r
- 2 2 6 V i d e o E n c o r d e r
- 2 2 7 画像表示装置
- 2 3 0 A E 検出回路
- 2 3 1 A E & A W B 検出回路

2 4 0 記録メディア

3 0 0 光量調整装置

4 1 0, 4 1 1, 4 2 0, 4 2 1, 4 3 0, 4 3 1 人物

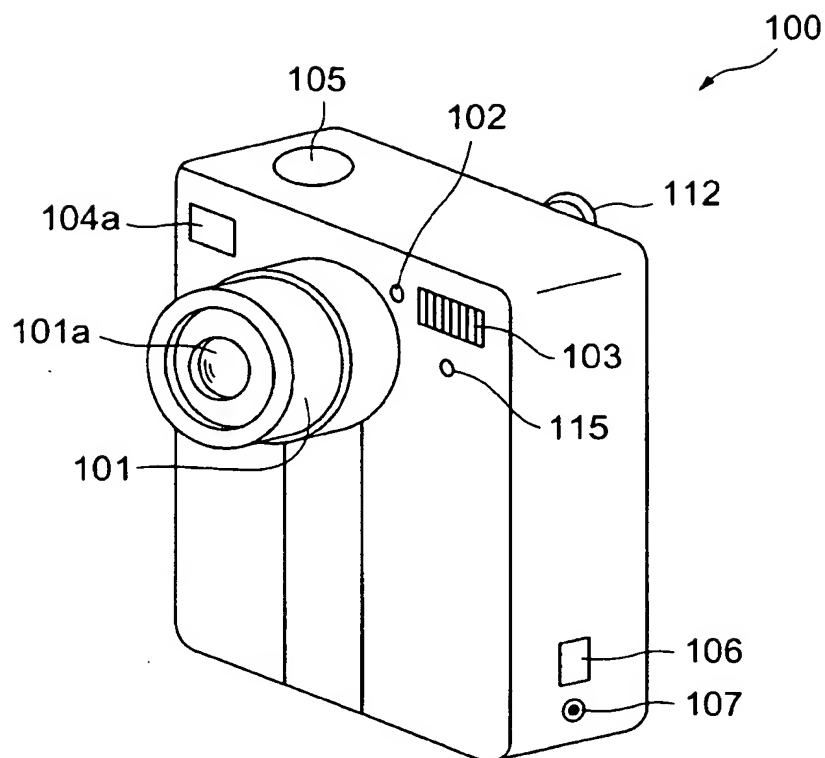
4 1 1 a, 4 2 1 a, 4 3 1 a 顔

4 1 1 b 目部分

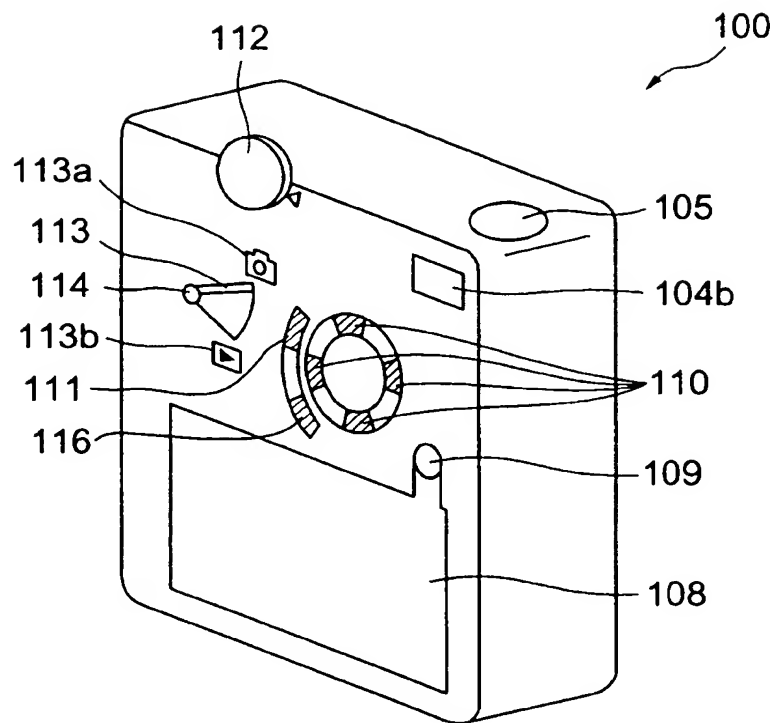
5 1 0, 5 1 1, 5 2 0, 5 2 1, 5 3 0, 5 3 1 丸

【書類名】 図面

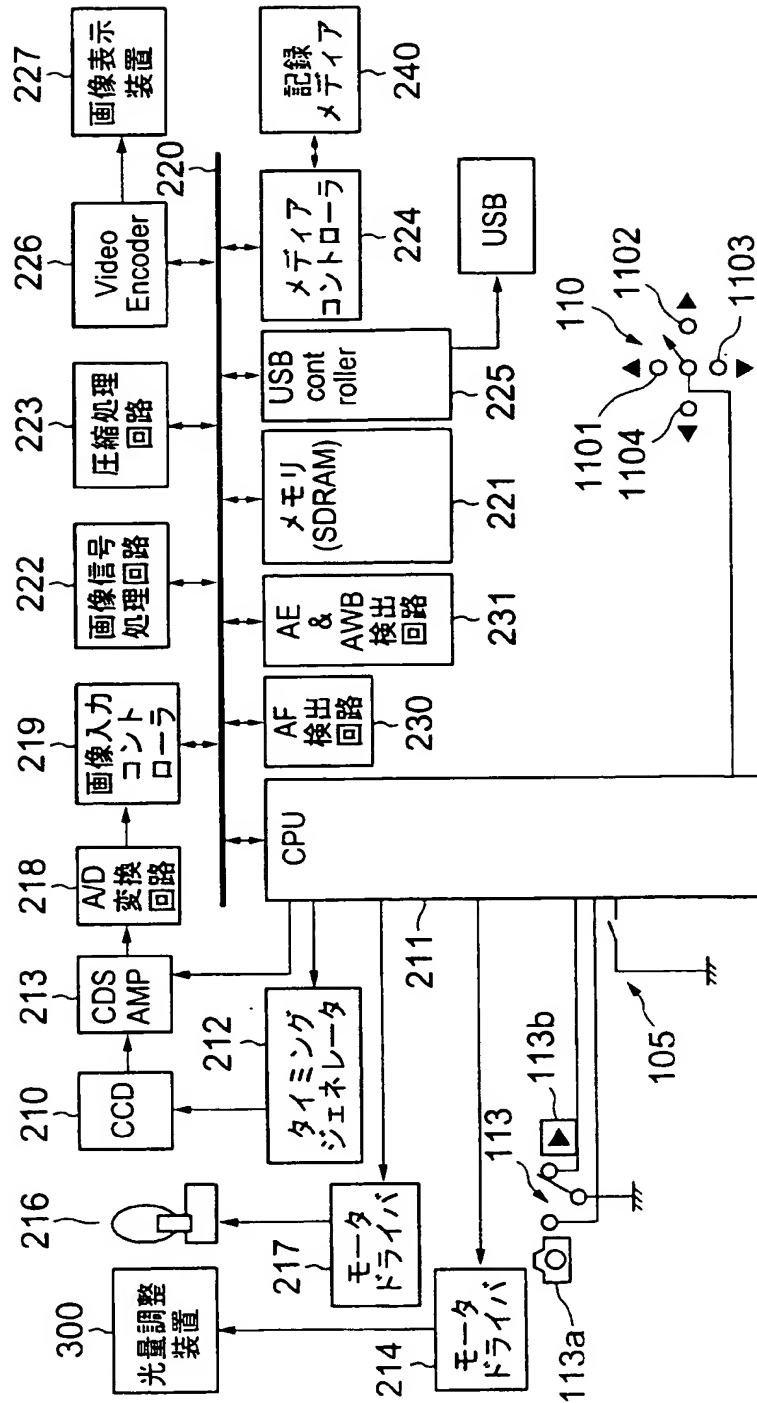
【図 1】



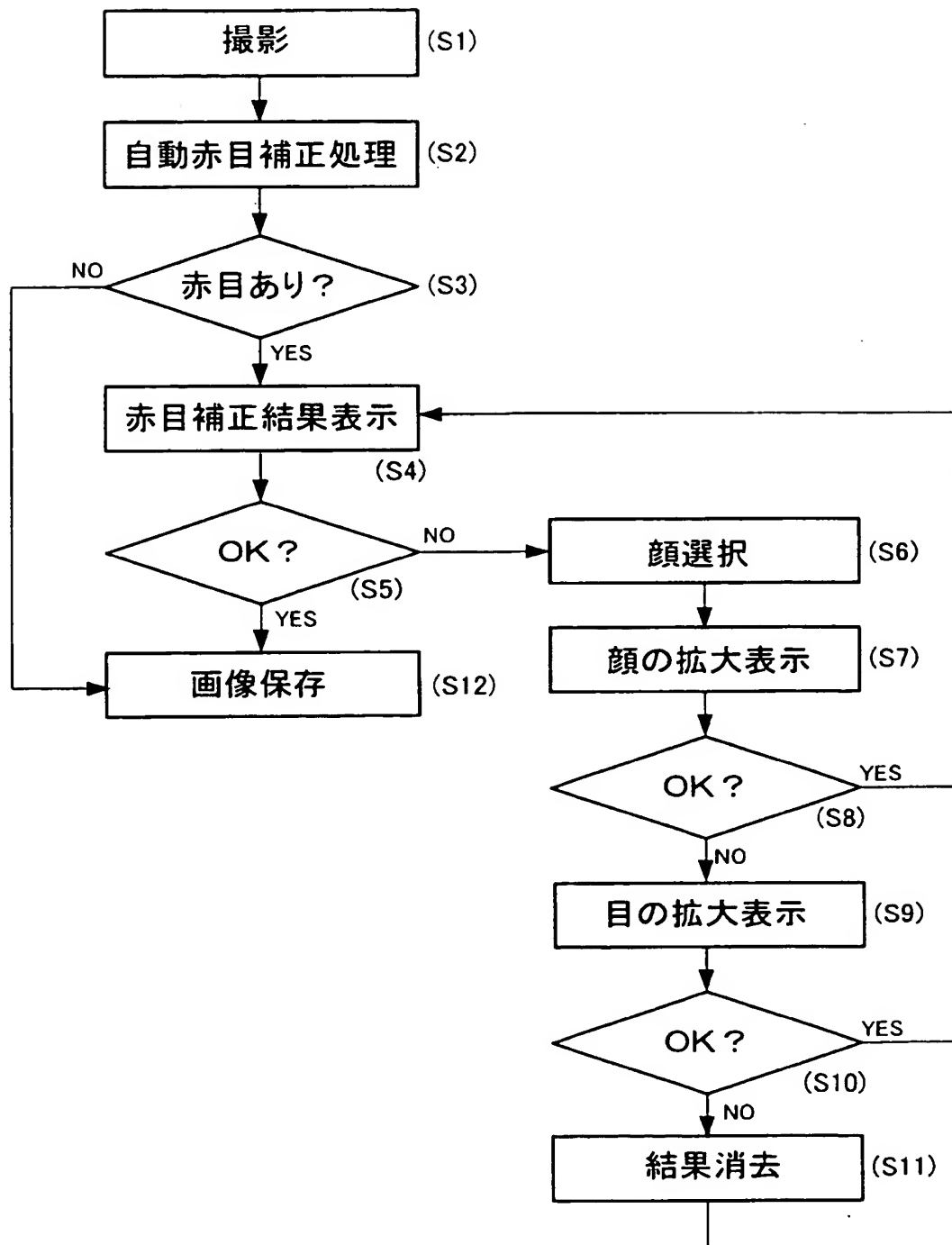
【図 2】



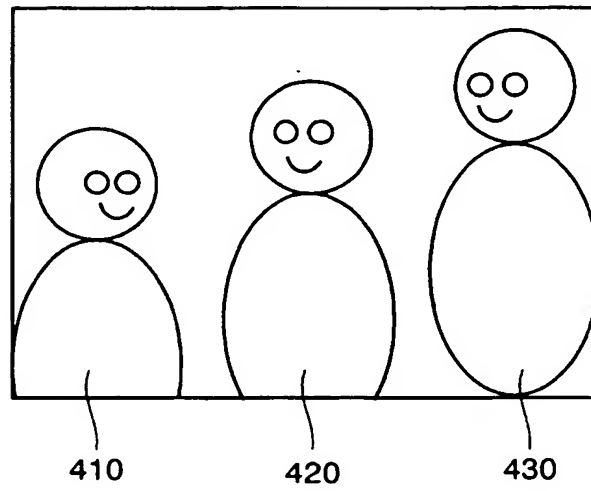
【図 3】



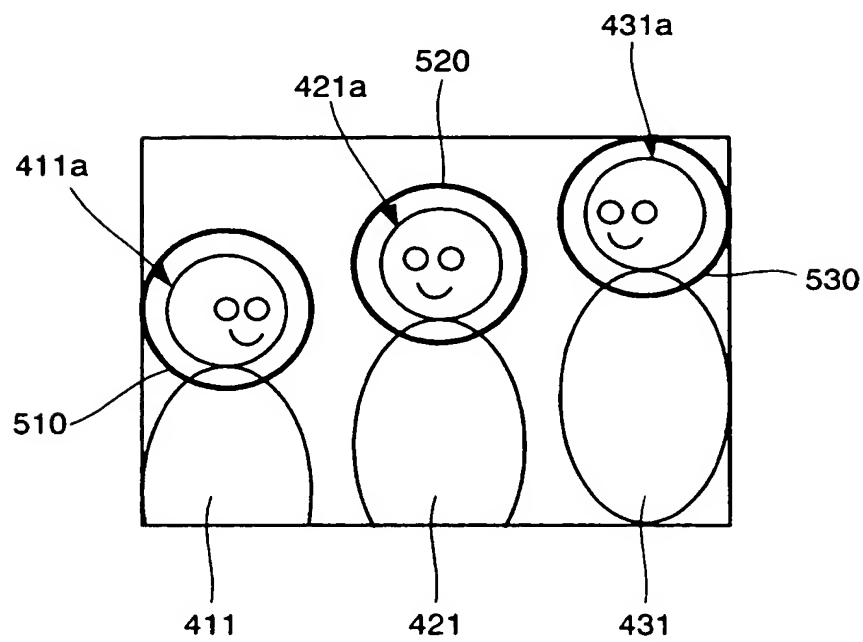
【図 4】



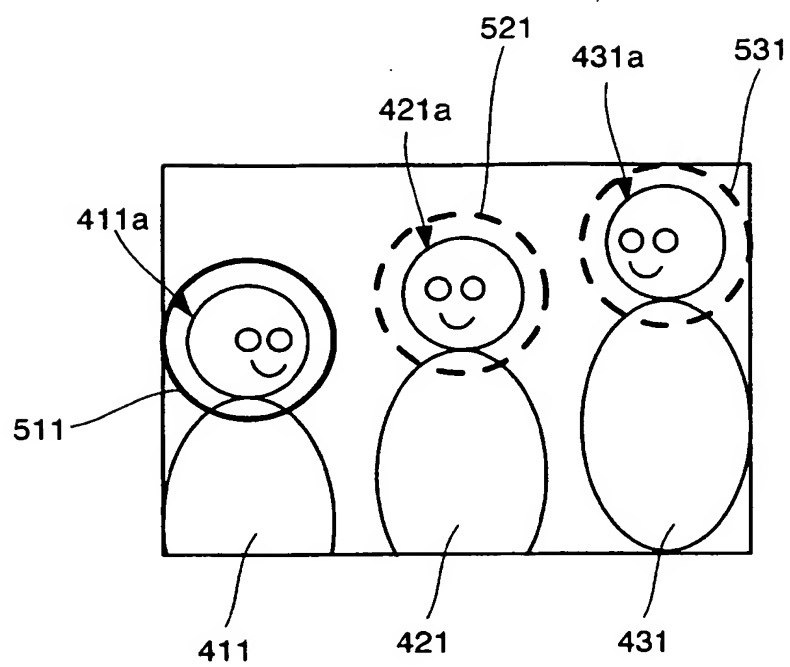
【図 5】



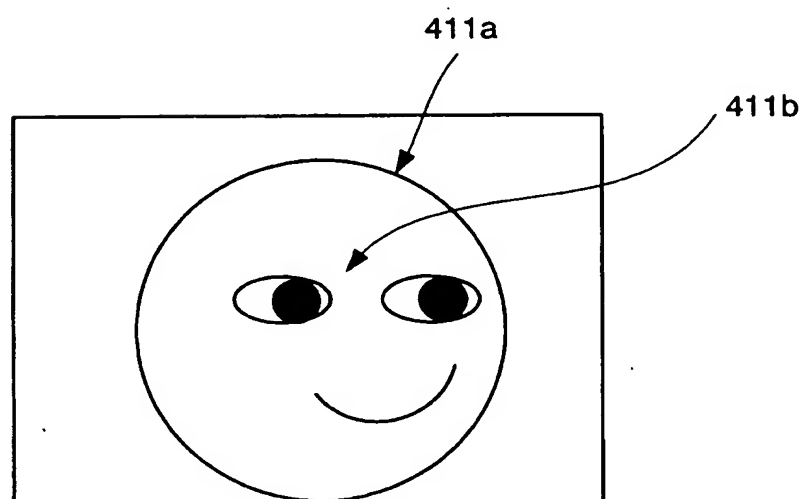
【図 6】



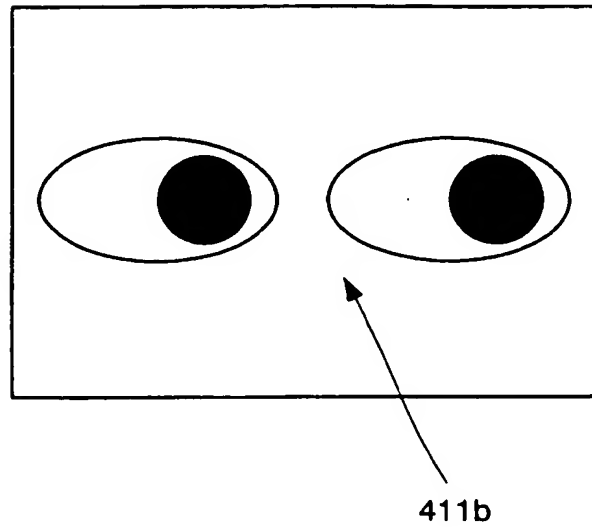
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 本発明は、画像中の赤目部分や金目部分などといった目の不具合を検出し、検出された不具合を修正する画像修正装置および電子カメラに関し、画像中の赤目部分や金目部分などといった目の不具合の確認が、容易な操作で実現される画像修正装置および電子カメラを提供することを目的とする。

【解決手段】 被写体像などといった画像中の赤目部分や金目部分などといった目の不具合を検出して検出された不具合を修正し、不具合が修正された後の修正後画像を表示する。

【選択図】 図 4

特願 2 0 0 2 - 3 5 9 6 6 9

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 5 2 0 1]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 1 4 日

[変更理由]

新規登録

住 所

神奈川県南足柄市中沼 2 1 0 番地

氏 名

富士写真フイルム株式会社